

平成 30 年度西日本地域高等専門学校技術職員特別研修会参加報告

第三技術班 崎村 誠

1. 参加目的

高専の技術職員が業務上での課題について討論し、同時に技術課題発表を行うことで職務遂行に必要な知識を習得し、技術職員としての資質の向上を図る。

2. 開催要項

主 催：独立行政法人国立高等専門学校機構

会 場：豊橋技術科学大学

期 日：8/27（月）～8/29（水）

日程表：

8 月 27 日（月）	8 月 28 日（火）	8 月 29 日（水）
受付 開会式 【特別講演Ⅰ】 「スマートホスピタルを 目指しての介護・リハビ リ・病院内支援ロボットの 研究」 【特別講演Ⅱ】 「技術系の仕事と気づき」 【班別討議】  ・情報交流会	【講義】 「オンチップ細胞ファク トリーの実現を目指して」 【施設見学】  【技術課題の発表及び討 議Ⅰ】	【技術課題の発表及び討 議Ⅱ】  【技術課題の発表及び討 議Ⅲ】  閉会式

3. 参加報告

3. 1 特別講義

研究発表に関しては各分野の最先端を聴講し、現代の研究分野の傾向としては科学と工学の協力、共同研究や企業との連携が強まることが実感できたが知識の無さから内容を十分に理解するには困難であった。まずは自身の専門分野の知識を深めることは当然だが、他分野への壁を設けず自身の知識を増やすだけでなく協力して業務を行う姿勢も大事だと感じた。また「技術系の仕事と気づき」の講演ではこのことについてさらに深く講演頂いたため、所属高専の技術職員としてや高専機構の一職員として組織全体を俯瞰して考えられる視野も大事だと痛感した。これからも精進したい。

### 3. 2 施設見学

最新鋭の設備が多く所有され、また種類も多くありましたが稼働していない機械は見受けられず管理が行き届いている様感じた。安全通路も広く、重量物を運搬するリフターも多数あり安全意識も高く感じた。リフターに関しては本校の実習工場でも導入検討中であるため参考にさせて頂きたい。

### 3. 3 技術課題の発表及び討議

機械系技術職員と言っても業務範囲が幅広く、授業や卒業研究、共同研究の補助や資格挑戦等の多岐にわたると実感した。今後の業務の中で行き詰った際は今回できた人脈を活用したい。

## 4. おわりに

西日本地域の技術職員と交流を持つことでまた視野が広がり、より自身や所属組織を客観視できるようになった。課題発表を行った実習工場の運営に関しては高専内でも高いレベルの運営を行っていると感じれ、これからも改善を進めて他校に影響を与えるような運営にしていきたい。